

# EG（欧州共同体）安全データ記述書

EWG（欧州経済共同体）91/155 に拠る

2008年12月22日更新

1994年1月7日作成

## 1. 製品及び製造会社に関する記述

製品名	塗装用ワックス
製造業者	KREIDEZEIT NATURFARBEN GmbH
通り名・私書箱	Cassemühle 3
郵便番号・市町村名	D 31196 Sehlem
電話番号	(0 50 60) 60 80-650
ファックス番号	(0 50 60) 60 80-680
緊急時連絡先	ラボ 電話番号(0 50 60) 60 80-682

## 2. 成分表示・構成物質に関する記述

化学物質の特性 乾燥物質（シカティブ、無鉛）を添加した、天然ワックスと植物性油脂の化合物

危険成分

## 3. 想定し得る危険性

危険性 当製品は、化学薬品法及び危険成分表示法に基づく危険成分ではない

特別な危険性 データなし

## 4. 救急処置

一般的注意事項 当製品が洋服などに付着した場合は、直ちに取り除く

吸入した場合 気分が悪くなった場合は、医者診断を仰ぐ

誤飲した場合 直ちに医者診断を仰ぐ。吐き出すか否かは医者指示を仰ぐ

肌に触れた場合 石鹼を使用し、水で充分洗う

目に触れた場合 注意しながら水で充分洗う（15分間洗う。瞼の裏側も洗う。コンタクトレンズは外す）眼科医診断を仰ぐ

## 5. 消火作業の際の処置

消化に適した物質	CO <sub>2</sub> -、泡状消化液、粉末状消化材、砂
消化に適さない物質	水
防護服	危険な煙が発生した場合には、防煙マスクを装着する
特記事項	容器を噴水器で冷やし、火元から遠ざける
当製品、燃焼生成物、ガスによる危険	火災の場合、刺激性、びらん性、毒性のある乾留ガスが発生する可能性がある

## 6. 誤って流出した場合の予防措置

人体の為の予防措置 特になし

環境保護の為の予防措置

下水、浄水、地下水に流出させない。軽微な水質汚染を引き起こす。WGK（水質汚染度）1（自己採点）

除去方法

除去に適した吸水性のある物質（布、砂、のこくず）で吸い取り、その物質は乾かさずに他のものとは分離して廃棄する。

特記事項

## 7. 取り扱いと保管

安全に取り扱う為に 強い酸性物質との接触をさける

火災と爆発を避ける為に

燃え移り易い火元に近付けない

当製品に浸した雑巾、塗装用布は容器に密閉し、乾燥しない様に保存する

亜麻仁油を含むので、自然発火の危険性がある

保管・保管条件

容器の蓋をしっかりと閉め、乾燥し凍結しない冷暗所に、子供の手が届かない様に保存する。食品、飲料、動物の餌に接触させない

保管クラス

## 8. 暴露管理と人体保護

限界値 データなし

一般的な保護対策 作業中の飲食及び喫煙を行わず、皮膚や目との接触を避ける

防護マスク 必要なし

手の保護 気孔のない手袋を装着する

眼の保護 必要なし  
体の保護 必要なし

## 9. 物理的及び化学的特性

9.1 外見 形状：ペースト状  
色：こはく色  
匂い：典型的な亜麻仁油の匂い

## 9.2 安全上重要なデータ

pH：データなし  
濃度：データなし  
沸点：データなし  
発火点：データなし  
発火温度：データなし  
爆発限界点：データなし  
水溶性：混合不可  
脂溶性：ほとんどの有機溶剤を用いて混合可  
粘性：データなし  
その他の特性：データなし

## 10. 安定性と復元性

避けるべき条件 高熱による分解の際に、刺激性のある蒸気とガスが発生する可能性がある  
避けるべき物質 強い酸性物質  
危険な分解物質 300℃以上の加熱の際にアクロライン（煙草の煙などに含まれる毒性物質）  
その他の特記事項 定められた保存法と用法を守る限り、分解は起こらない

## 11. 毒物学に関する記述

急毒性 データなし  
その他の特記事項 皮膚に長時間接触した場合、肌に刺激や違和感を感じる事がある

## 12. 生態学に関する記述

一般的な注意事項 下水、浄水、地下水に流出させない  
WGK（水質汚染度）1（自己採点）  
その他の特記事項 定められた使用法においては、環境汚染は認められない

### 13. 廃棄に関する注意事項

#### 13.1 当製品の奨励される廃棄法

廃棄後の作業の簡便化の為に、残存物質は集めて乾燥させ、家庭ゴミとして処理する。塗料、ラッカーなどの廃棄に注意する

#### 廃棄に関する取り決め事項

廃棄物キーナンバー

廃棄物名 油性オイルワックス乳剤

証明義務

#### 13.2 洗浄されていない容器の、奨励される廃棄法

空になった洗浄されていない容器は再利用する

### 14. 輸送に関する記載

#### 陸上輸送

#### **ADR/RID 及び GGVs/GGVE**

RID/ADR/GGVs/GGVE クラス :

番号・アルファベット :

警告板 : 危険番号 :

輸送物名 :

特記事項 :

#### 内水区域船による輸送 **AND/ADNR**

AND/ADNR クラス :

番号・アルファベット :

カテゴリー :

輸送物名 :

特記事項 :

#### 航洋船による輸送 **LMDG/GGV See**

LMDG/GGV See クラス :

UN 番号 : PG:

EMS: MFAG:

正確な技術名 :

特記事項 :

#### 航空輸送

#### **ICAO-TI & IATA-DGR**

ICAO/IATA クラス :

UN/ID 番号 : PG:

正確な技術名 :

特記事項：

輸送に関するその他の特記事項

15. 規定事項

15.1 ドイツ工業品標準規格ガイドラインによる記号  
記号と危険の内容 記号を付ける義務はなし  
明記すべき危険性のある構成物質  
なし

15.2 国家が定めた規定事項 ドイツ連邦共和国  
作業の際の注意事項  
VbVによるクラス付け なし  
水質危険クラス WGK (水質汚染度) 1 (自己採点)  
TA 気体 データなし  
MAK 値  
その他の規定事項、限定事項、禁止事項  
なし

16. その他の特記事項

当製品の注意書きをお読みの上、使用方法にお気を付け下さい。当 EG (欧州共同体) 安全データ記述書の内容は、印刷時の弊社における最新情報によるものですが、当製品の特性を確定するものではなく、契約上、法的拘束力はございません。

当記述書は、当製品の保管、使用、輸送、廃棄の際の取り扱いについての基準を示すものです。当記述書の内容は、他の製品については有効ではありません。当製品を他の物質と混合、あるいは混ぜ合わせて作業を行った場合、又、加工を行った場合、明確な記載がある場合を除いて、当記述書の内容は、新たに生成された物質に対しては有効ではありません。